

# ぬくもり

## 川に転落した女性を救った連係プレー

川に転落した女性を救った佃町の漁業、甲斐田親志さん(61歳)と妻の安子さん(57歳)、有明町の会社員、井上正美さん(56歳)の3人が5月25日、市消防本部から人命救助功労で表彰を受けました。

事故は4月7日、塩塚川で起きた。車で帰宅途中だった井上さんは同日午後5時50分ごろ、番所橋付近で、堤防から約



井上正美さん(左)と甲斐田安子さん

3メートル下の渦に、車いすの女性(51歳)がうつぶせに倒れているのを発見。近くに住む甲斐田さん方に協力を求め、安子さんが119番通報しました。井上さんと親志さんは川の中に入り、板の上に女性を引き上げるなどして救助しました。

発見当時、女性は身動きがとれず、すぐ近くまで潮が満ちてきていたため、あと少し救助が遅れていたら、命にかかわる状況でした。

表彰式に出席した井上正美さんと甲斐田安子さんは「無我夢中でした。助かって本当に良かった」と話していました。

## 郷土の俳人・木村緑平を語り継ぐ

層雲派俳人・木村緑平(1888〜1968)の作品展(木村緑平顕彰会主催)が、5月28日と29日、緑平が生まれ育った南浜武の崩道公民館で開かれました。崩道で作品展が開かれるのは今回が初めて。



展示会を主催した顕彰会の皆さん

木村緑平は中学伝習館から長崎医専にすすみ、在学中に俳人としての道を歩み始めます。大牟田や田川の炭鉱医として働くかたわら、「上手な空虚な句より下手な真実の句を作る」ことをめざし、五七五にとらわれない自由律の句をこつこつ作り、雀の句三千句をはじめ多くの作品を残しました。また、放浪の俳人・種田山頭火と親交が厚く、物質的精神的に生涯を支え続けます。亡くなるまでの3年間は脳溢血で倒れた妻フイを献身的に看病しながら句を作りつづけます。

会場には、緑平の略歴や写真、作品などが展示され、緑平の生涯が詳しく紹介されています。顕彰会では緑平が残した13の句集の中で、第1と第2句集

## 技のキレ、打撃のポインツで競う硬式空手



気合いの入った演技に会場は緊張感が漂う

筑後地区をはじめ、佐賀、熊本などから130人が参加して、第18回空真会硬式空手道大会が5月29日、市民体育館で行われました。

大会は、技の難易度やキレで競う「型」の団体と個人、実際に打撃や蹴りでポイントを競う個人の「組手」で行われました。市内の優勝者は次のとおり。

【型】団体A「龍真館」、個人小学2年「古賀寛人(東宮永)、同5年「古賀歩実(矢留)、同6年「式直也(二ツ川)、中学生「松永直徒(蒲池)」

【組手】小学1年「甲斐田大雅(六合)、同2年「甲斐田隆心



6年生以下の部で初優勝した城内サッカークラブ

勝トーナメントへ。大和は惜敗しましたが、城内は決勝へと勝ち進み、優勝杯をかけて大牟田市FCミズホジュニアサッカークラブと対戦。城内が2対0で下し、栄冠を手に入れました。4年生以下の部にも大和ウイングスが出場しましたが、惜しくも決勝トーナメント進出は果たせませんでした。成績は次のとおりです。

【小学6年生以下の部】城内サッカークラブ(柳川市) FCミズホジュニアサッカークラブ(大牟田市) 大川フレイテFC(大川市)

【小学4年生以下の部】夜須ジュニアFC(筑前町) マイティ大牟田(大牟田市) 大川東少年サッカークラブ(大川市)

## 地域みんなで勝利した「チャレンジデー」

15分以上スポーツをした人の、地域人口に占める割合を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が5月25日行われ、東宮永わんぱくスポーツクラブ(会長・今村隆義公民館長)が広島県北広島町の豊平地区と対戦しました。これは、人



東宮永小学校の全校生徒も縄跳びで参加した

をまとめた「木村緑平句集1」を発行しました。詳しくは、顕彰会事務局(牧野さん ☎72・6387)まで。

## 昭代・東宮永の婦人会が浄財を寄付

福岡県西方沖地震の復興に役立ててと5月25日、柳川市婦人会昭代、東宮永支部が市役所を訪れ、義援金を石田市長へ手渡しました。

義援金は両支部の会員たちが自主的に集めたもので、昭代支部(高崎昭美支部長、会員数約1400人)からは25万9321円、東宮永支部(山崎美代子支部長、会員数約300人)か



義援金を手渡す昭代と東宮永婦人会の皆さん

らは4万5000円の浄財が石田市長へ手渡されました。この浄財は、県災害対策本部へ送られました。

# がんばったね

## 成績・表彰コーナー

## 城内サッカークラブが大和カップ初優勝

第12回大和カップ少年サッカー大会が6月4、5の両日、大和B&Gグラウンドなどで開かれ、本市の城内サッカークラブが初優勝を飾りました。

久留米、小郡、筑後、甘木、荒尾市、大木、筑前町など県内外の9市2町から小学6年生以下の部と4年生以下の部にそれぞれ12チームが出場。6年生以下の部では地元勢の城内サッカークラブと大和ウイングスがともに予選リーグを突破し、決

口規模が同程度の地域で対戦し、負ければ相手の市旗などを1週間掲揚するもので、全国77カ所、筑後地方でも7カ所で行われました。

この日は東宮永小学校で、グランドゴルフやソフトバレー、剣道などが行われ、そのほか職場ではラジオ体操、個人でウオーキングなどを行った人に申告してもらい集計。地域住民4120人の内73・1%の3013人が運動を行い、豊平地区の4407人中70・7%の3115人を率で上回りました。同クラブの関係者は「全国の平均参加率が56・7%だったので、この対戦はハイレベル」とうれしうでした。70%を超えた両者には金メダルが贈られました。

## 「歯の健康フェア」ポスターコンクール

柳川山門歯科医師会では、歯の衛生週間(6月4日〜10日)に合わせ「歯の健康フェア」を開催し、図画ポスターコンクールに5893点の作品が寄せられました。入賞作品はあめんぼセンターなどに展示されました。市内の入賞作品は次のとおりです(敬称略。カッコ内は小学校名、学年)。



あめんぼセンターなどに展示された入賞作品

鎌田亜里紗(昭代第二6)、目野遥菜(二ツ河2)、塩塚滉平(有明3) 山門保健福祉環境事務所所長賞「金縄あかり(蒲池3)、乙丸幸穂(垂見6)、平川さやか(皿垣5) 天賞「北原穂野香(昭代第二3)、古賀あやこ(藤吉2)、大坪京平(豊原4) 地賞「中村侑香里(城内1)、乗富理恵(矢部5)、田中里佳(中島6)、東原安由子(柳河4)、森田真也(中山5)、たけまつあつや(大和1) 人賞「三浦寛都(東宮永1)、松石和也(二ツ河3)、升永早紀(六合1)、近藤百奈(矢留4)、広松アキラ(藤吉3)、武藤愛香(豊原2)、浦さつき(両開3)、横山千尋(垂見3)、高口深(中島5)